



ご卒業おめでとうございます

少しずつ春の訪れが感じられてきました。いよいよ、明日は卒業式です。3年生の皆さん、卒業おめでとう。保田中学校での3年間は どうでしたか？

唐突ですが、「当たり前」の反対語を知っていますか？ 当たり前の反対語は「有り難い（ありがたい）」です。今年は、今まで当たり前だと思っていた生活や行事の多くができなくなってしまいました。当たり前だと思っていたことが、有り難いことだったのです。そんな中で、初めから「どうせ無理」と決めつけず、この状況でできることは何か、どうすればできるのかを考え続けた1年でした。

その結果、修学旅行や体育大会（VS 保田）、保田祭（芸術の秋 in 保田）と今までとは違うけれども、心に残る行事を実施することができました。生徒の皆さんが前向きに考え、工夫したからこそ成功させることができたと思っています。このことは皆さんにとって大きな財産です。卒業式で皆さんに「**最善観**」という言葉を贈ります。どういう意味か、考えておいてください。

そして、忘れてはいけないのは、保護者や地域の皆さんのご協力です。感謝の気持ちを持つとともに、皆さんを支えてくれる人たちが沢山いることを卒業しても忘れないでください。

明日の卒業式に、在校生は残念ながら出席を控えてもらいます。先輩達を直接見送れないのは残念ですが、きっと立派な卒業式になると思います。下の歌詞は、3年生が思いを込めて作詞をし、尾藤先生が作曲された卒業の歌 ～君に～ です。すてきな歌声を楽しみにしています。

令和二年度 卒業の歌 ～君に～

作詞 令和二年度 卒業生
作曲 尾藤 文香

こんなわがままな僕を 受け止めてくれた君に
この歌を 贈ろう

桜が咲いた瞬間に みんなの目は輝いていた
笑顔で 満ちあふれる人もいた

僕と君の小さなわだかまり
大きくなって僕を苦しめる
仲直りしたい自分に
気づくことができなかった

元気をくれた君に 君と巡り会えた奇跡に
たくさん教えてくれた君に
ありがとう

桜が散った瞬間に みんなの目は涙だった
空を見上げて 強がる人もいた

僕と君の小さなすれ違い
大きくなって僕をしめつける
君のさりげないやさしさに
気づくことができなかった

勇気をくれた君に 君と過ごせた時間に
たくさん教えてくれた君に
ありがとう

勇気をくれた君に 君と過ごせた時間に
たくさん教えてくれた君に
ありがとう